

## 第 30 回国高地区ソフトバレーボール大会要綱案

1. **目的** 地区民がソフトバレーボールを通じて、お互いの親睦と融和を図り、健康増進すること
2. **期日** 令和6年10月27日(日)
3. **会場** 武生第三中学校体育館
4. **開会式** 午前8時30分(試合開始 午前9時)
5. **主催** 国高地区スポーツ協会
6. **共催** 国高地区自治振興会
  
7. **経費** 大会に必要な経費は主催者で負担し、その他は参加者で負担する。  
登録者全員を傷害保険に主催者にて加入する。
8. **競技種目** 4人制とする(部門は、下記の3部門とする)
  - ① 混合一部 男女各2名 (コート内年齢 フリー)
  - ② 混合二部 男女各2名 (コート内年齢 30歳以上)
  - ③ 混合三部 男女各2名 (コート内年齢 45歳以上)

※1. 参加者は監督1名、選手8名以内とし、監督は選手として登録すれば試合に出場できる。

※2. 基本的に選手は男女各2名であるが、男子の代わりに女子の出場は認める。

※3. 年齢の高い選手が年齢の低いチームへの出場は認める。

※4. 年齢は大会当日とする。
9. **参加資格** 国高地区居住者とする。  
学生(小学5年生)以上であれば参加資格を認める。ただし、競技への学生参加者については1チーム、コート内に1名までとする。  
1町内で人数がそろわない場合、複数町内の合併チームの参加を認める。
10. **試合方法**
  - (1) 予選はリーグ戦(3~4ゾーン:1ゾーン3~5チーム)とする。
  - (2) 決勝トーナメントを行い、順位を確定する。(ただし、参加チーム数によっては3~5チームによるリーグ戦とする)。
  - (3) チーム編成:1チーム男女各2名(男性2名以内で可)の4人制とする。
  - (4) コートはバトミントンダブルスコートを使用する。
  - (5) ボールは協会指定のものを使用する。ネットの高さは2mとする。
  - (6) 主審、副審、ラインズマン、スコアラーは各ゾーンの試合のないチームから各3~6名出すこととする。
  - (7) 3セットマッチラリーポイント15点(17点で打ち切り)とし、2セット先取した方が勝とする。
  - (8) 各部門でのリーグ戦、順位決定方法
    - ① 勝率② セット率 ③ 得失点差 ④ 抽選(ジャンケン:各チーム3名による)

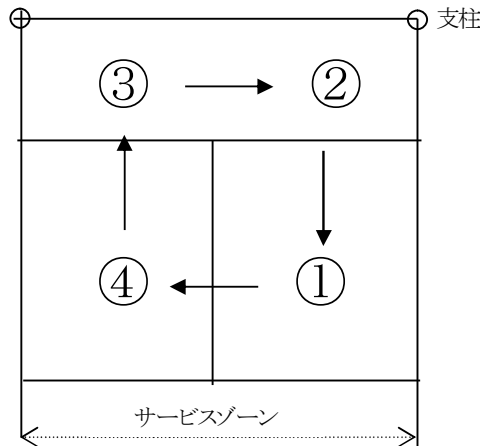
※勝率=勝ち試合数÷自チームが行った総試合数

※セット率=得セット数÷失セット数
  - (9) 町内順位は、各部門の順位点の合計を総合点とし、総合点の多い順から1、2、3位を決定する  
※順位点=各部門: 1位5点 2位4点 3位3点 4位以下全て2点
  - (10) 表彰:各部門の優勝、2位、3位まで及び町内順位の優勝、2位、3位までを表彰する。  
賞金は優勝チームにのみ付与する。2位、3位は賞品を付与する。
  - (11) ゼッケン(番号)を着用のこと。(各町内にて準備)
  - (12) 詳細なルールは別紙(国高ルール)の通り。
  - (13) 試合組合せは、事務局による事前代理抽選とします。

- 12. **参加申込** 申込書に必要事項を記入の上、国高公民館まで提出のこと。
- 13. **参加締切** 令和6年10月17日(木) 午後7時30分まで
- 14. **監督会議** 本年も行わない。
- 15. **注意事項** (1) ゴミは各自で持ち帰ること。  
(2) 終了時は勝ち残ったチームで後片付けをお願いします。  
(3) 学生、特に小学生の参加に於いては保護者の同意を必ず得る事。  
怪我等について問題が起きないように各町内で十分に留意願います。
- 16. **競技責任者** 北畑副理事長

## 第30回国高地区ソフトバレーボール 国高ルール

### 1. 競技者の位置とローテーション



- 2. タイムアウトは各チーム1セット2回まで(1回30秒まで)。選手はフリーゾーンに出ること。
- 3. 交代はフリーとする。
- 4. ブロック後の1回目の接触は、ブロック時にボールに触れた競技者を含んで誰にでも可能とする。
- 5. ラリーポイント制 15点(17点で打ち切り)とし、サーブは1本とする。
- 6. サーブは、全ての部門で打点が肩から下とする。
- 7. サービス終了後、後衛の競技者が前衛へ入り攻撃またはブロックを行うことも出来る。
- 8. プレー上の反則
  - (1) チームがローテーション順を誤ってサーブを行った時
  - (2) サービスゾーンの外でサーブした時
  - (3) サーブが行われた瞬間に、サーバー以外の両チームの各競技者が正規のポジションに位置していなかった時
  - (4) サーブされたボールが、ネットあるいは支柱・アンテナに触れるか、相手方競技者に触れずに相手方コートの外に落ちた時
  - (5) サーブされたボールをアタックヒットして、そのボールが相手方コートに直接入った時
  - (6) サーブされたボールをブロックした時
  - (7) ネットを越えて相手方コートに打ち返すために、ボールの接触回数がブロックを除いて最大3回を超えた時
  - (8) ボールに接触中、明らかにボールが止まるようなプレーがあった時
  - (9) ブロックの場合を除き、同一競技者が、明らかに2度続けてボールに触れた時
  - (10) インプレー中に、ネットやアンテナに触れた時(ネット下部のポールへの接触はグッド)
  - (11) ネットによって分けられた相手方コートにあるボールに触れた時
  - (12) センターラインを完全に踏み越した時
  - (13) ネットの下から、相手のプレーを妨害した時
  - (14) ボールがアンテナに触れた時ただし、アンテナとネット同時に接触した場合はインプレーとなる
  - (15) サーブ及び、競技中のボールがアンテナの上部延長上及び、アンテナの外側を通過した時

以上